

私たちに与えられた恵み

最も美しい天国、新しいエルサレムへの希望が満ちている万民の歴史で、5月になればもっと思い出すうれしく幸せなこと。

柔和の実

霊的な柔和とは、心優しくやわらかい性分に徳が兼ね備えられていることである。

支教会7月スケジュール

ドキドキわくわく

虹、オーロラの光、霊の分離で天国への希望が加えられた聖徒の証しでききまきで満ちていた当時を回想する。

「まことの幸せを与えようとするその方の愛」

結婚9年目で女の子を授かる、いのちのみことばを聞いて生涯最高の幸せを体験など、みことばと神の力で満ちている聖徒たちの証し。

万民ニュース

第164号 2016. 6. 26.

MANMIN NEWS

TEL: 82-2-818-7063

www.manmin.org

「水晶のように澄んで美しく、 神の栄光が満ちている天国への希望で幸せです」



万民の歴史にはいつも神の愛と祝福があふれていた。豊かないのちのみことばと驚くべき神の力あるわざによって、数えきれないほど多くの人が生ける神を見つけ、また来られる主を慕い、聖霊のみわざを体験している。

特に5月になれば、堂会長イ・ジェロク牧師をしもべとして召され、34年間、聖霊の働きのうちに施してくださった豊かな神の恵みを思い出さずにはいられない。

1978年5月、神は施しをして宣教をする長老を夢見て祈っていたイ・ジェロク執事をしもべとして召された。彼はみことばと祈りを武具として、神の力を授かるかと数えきれないほど断食を積み、神学校4年生だった1982年に「万民教会」を開拓した。

1984年5月、御国の福音を伝えて地の果てにまで主の証人になるために祈っていたイ・ジェロク伝道師に、神は誕生日を前に断食して祈るようになり、天国について教え始められた。その結果、現在『天国』上巻が27、下巻が14

言語で発刊されて、多くの魂を救っている(写真⑦)。

1986年5月、牧師按手を受けた後、民族福音化と世界宣教のために韓国各地でリバイバル聖会を導き、文書、放送宣教を通して全世界の万民を心に抱いて魂の救いに努めるように祝福された。

そして1993年5月から毎年「2週連続特別リバイバル聖会」を開催し、国内外の聖徒が生ける神の力を体験して目撃するようになされた。聖書に記されているように、死んだ者が生き返り、目の見えない人が目を開き、聞こえない人が聞き、話せない人が話し、歩けない人が立ち上がり、不妊の数十組の夫婦が一度に妊娠するようになり、がん、エイズなどの病気がいやされ、初代教会のような驚くべきリバイバルと神の力あるわざで神に大いに栄光を帰した。

1998年5月には「神は光であり」というテーマで開かれた「2週連続特別リバイバル聖会」で神の御座の回りにある虹(黙示録

4:3)を人の目で見られるようにしてくださった。それ以後、三重、四重の丸い虹はもちろん、直線、左右対称、非対称、K字、指輪、複合的な形など、珍しい虹が続いて現れている(写真①②③、3面参照)。

特に2004年5月、「初めの声を発せよ」というテーマで開かれた最後の「2週連続特別リバイバル聖会」では、世界の万民の聖徒が衛星で同時礼拝をささげ、四福音書に記されている不思議なわざとするしを体験できた(写真⑧)。その結果、福音が始まった所だが福音の辺境地になったイスラエル宣教の門が大きく開かれた。

2011年5月からは、霊の世界を慕う聖徒たちの携帯で、初めの

光が感じられるオーロラの光が撮れるようになった。天使、ハート、魚などの形(写真④⑤⑥)が見える。これで聖徒たちは主に似せられた美しい心をさらに慕い、すみやかに信仰が成長した(3面参照)。

2013年5月、神はイ・ジェロク牧師の切なる祈りに答えて、聖められた主のしもべと働き人の8人が天国と地獄に行つて来て証しするようにされ、聖徒たちは天国と地獄が確かに存在すると確信を強めた(3面参照)。

2014年5月から、イ・ジェロク牧師は御霊に属する心に変えられた人、全く聖なるものとされた

人々を祈りの家に招待し、最も美しい天国、新しいエルサレムを慕って、幸せな信仰生活をするように主の愛を伝えている。2016年5月には、万民の未来である教会学校の中高生が終わりの時、罪と悪がはびこった世を変えさせる御霊の戦士へと成長できるように祈りの家に招待し、天国への希望で心を満たした(写真⑨)。

このように幸せな5月を覚えて、愛する子どもたちに「何を与えようか」と最も良いものを備えておられる三位一体の神の愛を心に深く刻み、全聖徒がみことばと祈りで聖められた者になられるように(第一テモテ4:5)。

柔和の実



堂会長イ・ジェロク牧師

「しかし、御霊の実は、愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制です。このようなものを禁ずる律法はありません。」
(ガラテヤ5:22~23)

一般に人は性格が優しくてやわらかいと「柔和だ」と言う。しかし、神が認められる霊的な柔和は、単にやわらかくて優しいことだけを意味するのではない。それでは、御霊の九つの実の一つである「柔和の実」とは何だろうか？

1. 皆を理解して抱ける心

霊的な柔和とは、善の知恵があって正しいか正しくないかを見分けることができるが、悪い感情がないので、皆を理解して抱けるやわらかい心のことである。つまり、心優しくやわらかい性分に徳が兼ね備えられているのが霊的な柔和である。徳があると、いつもやわらかいだけでなく、正すべき時は威厳を持って正すのだ。

また、柔和な人の心は綿毛のようにやわらかい。ふんわりした綿に石を投げたり針で刺しても音もなく包んでしま

うように、相手が自分にどのように対しても、柔和な人の心には引っかかりがない。つまり、相手のせいで憤らないし、わかってもらえなくてむなしくならなくて、相手の心の平安を乱すこともない。他の人をさばいたり罪に定めたりしないで、理解して包んであげる。

このような人には安らぎを感じるので、多くの人に来て宿り、休みを得る。まるで堂々とした木に枝がよく伸びて鳥がその枝に宿り、巣をつくって休みを得るようなものである。

神の御前に誰よりもこのような心を認められた代表的な人がモーセである。〈民数記12:3〉に「さて、モーセという人は、地上のだれにもまさって非常に謙遜であった。」とある。モーセがエジプトから連れ出したイスラエルの民は、おとただけでも60万人である。女と子ども、老人を含めれば、その数がゆうに200万人を超えるだろう。このように多くの人をカナンの地に導く過程で、大きい神の力を見せても、民は何度もモーセにつぶやいて立ち向かった。こんな民を導いて四十年間も荒野の生活をしたということは、モーセがどれほど心優しくあったのを物語っている。

〈マタイ5:5〉に「柔和な者は幸いです。その人たちは地を受け継ぐから。」とある。ここで「地を受け継ぐ」とは、この世で土地をもらうという意味ではなく、心に霊的な柔和の実が結ばれたほど、天国で広い地を受け継ぐという意味である。

この世でいくら広い土地を所有したとしても、それを天国に持って行くことはできない。しかし、神が柔和な人の下さる天国の地はとこしえになくならない。美しい天国で主と愛する人々とともに永遠に幸せに生きていくのだ。

2. 良い地にたとえられる霊的な柔和

霊的に柔和な心は良い地にたとえられる。人の心に悪が多ければ、道ばたのように硬くて真理を受け入れられない。あるいは、真理を聞いて恵みを受けても、すぐ疑って恵みを台無しにしてしまったり、世のものを得ようと恵みを捨ててしまう。

しかし、このような心でも熱心に変えさせていくなら、良い地のような心になれる。いくら荒地であっても、農夫が熱心に耕していけば、結局肥沃な地

に変わる。このように地の性質が変わりうるように、人の心も神の力によってはいくらでも変えられるのだ。荒れた畑のように硬くなった心でも、聖霊に助けられるなら、十分に耕して良い地になれるのである。いくら悪が多く植えつけてられて良くない心であっても、悪を捨てていけば、結局美しい心に変えられる。荒れた心、すなわち、相手と引っかかって敵になって、ねたみ、そねみ、争いがある心も、変えさせていけば柔和の実が結ばれるのだ。

ところで、聖霊を受けたからといって、自然に心が変わるのではない。必ず自分の努力が伴わなければならないのである。絶えず火のように祈って、すべてのことに何としてでも真理によって考えて、真理によって話し、真理によって行おうと努めなければならない。数週間、数か月間だけやってあきらめるのではなく、最後まで固い意思をもって心を守らなければならない。このような意志と努力があるとき、神も恵みを注いで強くしてくださり、聖霊も助けてくださるのである。

このように心を良い地に耕していけば、自然に御霊の実も結ばれていく。特に柔和の実の心は地の地を耕すこととさらに密接な関連がある。憤り、憎しみ、そねみ、欲、争い、自分を目立たせたい心などを捨てなければ、柔和になることも、多くの人とその心に宿ることもできない。それで、柔和は他の御霊の実よりもさらに聖めと直接的な関係があるのだ。

霊的な柔和を心に耕していると、蒔いたとおり刈り取る良い地のように、求めるものは何でもすみやかに答えられるし、聖霊の声も明らかに聞いて、すべてのことに栄えるようになる。

3. 徳を兼ね備えた霊的な柔和の実

まず、徳とは、正しくて威厳があって、節度ある行いとして現れる。分別がなく優しいだけで優柔不断な人は他の人を抱くことができない。かえって無視されて利用されやすいのだ。しかし、徳と柔和を兼ね備えている人は内面に公明正大な基準を持っているので、正しいか正しくないかを正確に見分けて行える。

イエス様も、宮きよめをされた時や、パリサイ人と律法学者たちの偽善を叱

られた時は、断固として強い姿を見せられた。いたんだ葦を折ることもなく、くすぶる燈心を消すこともない優しい心だが、叱らなければならない時は厳しく叱られたのである。そんな断固としたところと義が内面にある人は、語気を強めたり厳しくしなくても、他の人がその人に軽々しく対せない。

このように外面に現れる姿は、主の教育によって完全にされたからだの行いとも関連がある。徳のある人はひと言にも重みがあり、無益な言葉を口にしない。服装も時と場所に合わせて整え、表情も無愛想だったり冷たかったりするのはなくやわらかい。徳を兼ね備えた柔和の実が結ばれている人はすべてを正しく行うが、同時に相手の心に配慮して気楽にする心遣いを持っているのである。

次に、徳は心を広く遣う憐れみと親切の行いとして現れる。物質的に困っている人に施しをするだけでなく、霊的に悩んでいる人、弱い人を顧みて、慰めて恵みを与える。たとえば、迫害されてつらい信仰生活をしている聖徒を見ると、気の毒に思うだけでなく、暖かく慰めと励ましの言葉をかけ、事情を調べて施しをして、力づけるのである。このように柔和な心が徳のある姿として現れてこそ、相手にとって恵みののちになれるのだ。

愛する聖徒の皆さん、

何か自分の願いどおりにならないと「生まれつきの性分だから仕方ない」とひょっとしてでも言い訳をしているのではないだろうか？ 創造主なる神を信じる人ならば、こんなことを言うてはならない。イエス・キリストを信じて聖霊を賜物として受け、みことばと祈りによって変えられるなら、聖霊の働きによって性格や心もいくらでも変えることができる。いくら憤りが多くて自分を目立たせようとする性分や自己中心的で義の強い性分であっても、悪を捨てて心を耕すなら、柔和で徳のある性分に変えられる。内気で小心な性分も、いくらでも大胆でのびのびした性分に変えられて、多くの人を抱けるのだ。

まめに心の地を耕して柔和の実を結び、出エジプトの指導者モーセのように多くの人を愛して仕えるように、主の御名によって祝福して祈る。

7月支教会スケジュール

7月17日(日)	大阪万民教会	癒しリバイバル聖会(講師:金モニカ牧師)	7月27日(水)	松本万民教会	リバイバルいやし集会(講師:伊藤正明牧師)
7月24日(日)	舞鶴万民教会	癒しリバイバル聖会(講師:金モニカ牧師)	7月31日(日)	名古屋万民教会	癒しの集会(講師:時國みや子牧師)
7月27日(水)	飯田万民教会	権能いやし聖会(講師:柳 <small>やなぎ</small> スンギル牧師)	7月31日(日)	東京万民教会	権能いやし聖会(講師:崔ピョンラン牧師)

万民ニュース

Japanese

発行人: イ・ジェロク
編集者: ビン・グンソン
www.manmin.org/Japanese
www.manminnews.com
編集発行: 万民中央教会
〒08389 韓国ソウル市クロ区デジタル路26キル29
TEL: 82-2-818-7063 FAX: 82-2-818-7048

「神様のプレゼントで天国への希望があふれています」

罪と悪がはびこった終わりの時に、聖徒が信仰によって勝利できるように、愛なる神はこの地上でも天国の美しさと幸せを感じられるように霊的な体験を下さる。その体験のうち三つの証しを聞いてみよう。

「世の中にこんな虹があるとは！」

「その方は、碧玉や赤めのうのように見え、その御座の回りには、緑玉のように見える虹があった。」(黙示録4:3)

キム・セレム姉妹(29歳、ムアン万民教会)



1998年5月15日、万民中央教会で多くの聖徒が聖殿に集まって神様が喜ばれる礼拝をささげていましたが、教会の上空に太陽の周りを囲んだ丸い虹がかかりました。それ以後、神様が喜ばれる行事や宣教が行われている現場には、不思議で珍しい虹が数えきれないほど現れた

のです。

2011年1月19日、私は神様の恵みによって太陽を中心にした丸い虹と、その上に両側からダイヤモンドをはめ込んだように驚の翼のような虹が重なっていて、その上に半円の虹と扇の形の虹が一つになった複合的な形の虹を撮影することができました(写真)。

その日の朝、父キム・ミョンスル牧師(ムアン万民教会担任)が驚いた様子で家に走って帰って来て「空でもすごいことが起きた！」と気ぜわしげに言いました。私はすぐ飛び出して空を見ましたが、生まれて初めて見る光景にとっても驚きました。

あたふたとカメラを担いで、ムアンの甘い水の泉の丘に走って行きました。

虹がものすごく大きくて魚眼レンズにも入り難いから、地面に横になって写真を撮りました。初めは丸い虹に左右対称の虹でしたが、時間が経つにつれて形がいろいろに変わりました。一緒にいた聖徒の皆さんと歓声をあげ、撮影している間中、感謝と感嘆の連続でした。父なる神様の栄光と威厳が感じられて、全身に戦慄が走りました。

このような神様のしるしをカメラに収める



と、神様の愛を感じて感動が押し寄せてきて、霊の世界があることが実感できるので天国への希望が加えられて、霊の信仰も成長しました。神秘的な霊の世界を知るように、直接目で見られるように、牧者に現われる神の力を通して働かれた神様に、すべての感謝と栄光をお帰しします。

「美しいオーロラの光で心に感謝と喜びがあふれています」

「その方の回りにある輝きのさまは、雨の日の雲の間にある虹のようであり、それは【主】の栄光のように見えた。」(エゼキエル1:28)

キム・オクチュ勸士(55歳、2大大11教区)

主人の海外勤務で私は長い間離れて暮らさなければならなかったのですが、よく気のきく息子がいて、ずいぶんと頼っていました。そのうちに息子が軍隊に行くようになると、私は会いたくて寂しくて我慢で



きず、涙で過ごして祈る力さえ失ってしまいました。次第に祈りながら力が与えられましたが、相変わらず寂しい心は満たされませんでした。

そのうち2011年5月20日、神様は万民の聖徒たちに霊の空間から出て来る神様の初めの光を感じられるよう

にしてくださいました。携帯で撮影すると、いろいろな形のオーロラの光が撮れました。天国を連想できる光が魚や果物、花などの形に撮れました。

神様は私にも天使の形と、天国のりんごを連想するようにりんごの形が撮れる恵みを下さいました。ある日は十字架を撮りましたが、イエス様の形がとてはっきり現れました(写真)。

それ以後、私の心には神様の恵みと愛が新たに臨み始めました。寂しい心が一瞬にしてなくなって、喜びと感謝があふれるので信仰と希望が加えられました。神秘的で美しいオーロラの光で慰めてくださり、天国への希望で満たされるようなさった主に感謝します。ハレルヤ!



「天国と地獄、霊の分離を通してさらに確信しました」

「私はキリストにあるひとりの人を知っています。この人は十四年前に――肉体のままであったか、私は知りません。肉体を離れてであったか、それも知りません。神はご存じです、――第三の天にまで引き上げられました。」(第二コリント12:2)

キム・ファンサン執事(57歳、1大大9教区)

2013年5月25日、金曜徹夜礼拝2部の時、私は驚くべき体験をしました。その日は堂会長イ・ジェロク牧師先生の祈りで、聖められた主のしもべと働き人8人が一か所で霊が分離して、天国の各場所、地獄とよみを見てきて証しする時間がありました(写真)。

聖書にも、使徒パウロのからだから霊が分離して天国を見てきたと告白したことが記されています。証しする人がその

場で天国の場所と地獄について生々しく聞かせてくれたので、天国と地獄が実存することをさらに確信しました。

ところで、驚いたことに、証しを聞いていた私の前に、突然まばゆい天国の花畑が広がっていたのです。花畑だけ見たのに、とても安らかでうっとりしました。続け



て神様は、火の池で首だけ出して苦しみを受けている人々の凄絶で残酷な姿を見せてくださいました。

こんな体験をした後、私は堂会長先生の著書『天国』と『地獄』を読んで、天国と地獄について詳しく知るようになりました。行ったとおりに報いてくださる神様の愛を悟って、天国への希望で心が熱くなりました。

その当時、私は信仰生活を始めてからいくらか経たない頃だったので、このことで信仰がとて

しました。

今は3-4男性宣教会の役員として、男性区域長として熱心に忠実に仕えて、最も美しい天国、新しいエルサレムへの希望を抱いて力強く進んでいます。人生の本分を知るようになり、まことの希望を下された三位一体の神様に、すべての感謝と栄光をお帰しします。



いのちのみことばは私の生涯で最高の幸せです

シン・ヒョンサン執事(77歳、プサン万民聖潔教会)



家内と私は3年ほどキリスト教放送やインターネットで真実の牧会者を探していました。そうしているうちに知人を通して万民中央教会を知るようになりました。

堂会長イ・ジェロク牧師先生の著書『十字架のことば』を読みました。「わあ、これは世の中にないみことばだ」でした。聖書66巻を核心にして書かれた、本当にショッキングな本でした。福音の核心であるイエス・キリストについて詳しく書かれていて、誰でも読むべき内容で、特に主のしもべや神学生にとっては必読書です。私はこの尊い本を主のしもべや知人に手渡しています。

『信仰の量り』もまた、信仰を段階別に説明して下さって、自分の信仰を正確に知って、その信仰を育てていけるように詳しく記されているので、本当に驚く

ばかりです。

このように堂会長先生の説教は主の心に似せられていくことに焦点を合わせて、御霊に属する心、全く聖なるものとされた心について詳しく伝えてくださいます。このような説教は他のどこでも聞いたことがありません。

特にGCN放送(www.gcntv.org)の番組の「創造と科学」を好んで見っていますが、堂会長先生の創世記講解を基に人体の神秘、天体、ピラミッドなどをよく説明して下さるので、聖霊に動かされて解き明かされたいのちのみことばに感心するしかありません。

みことばどおり行いながら教えておられる堂会長先生の謙遜と犠牲の生き方は主の姿を連想させるので「まるでイエス様のナビゲーションのようだ」と自然に

思えてきます。

私は成功して多くを味わって生きてきましたが、家内や子どもたちに良くしてやれなかったことがいつも気にかかっていた。でも堂会長先生の生き方に感動したし、聖書のみことばそのまま行いながら伝えておられるこのいのちのみことばがまさに「私のため家族のため」と思えるので、家族と一緒にまことの幸せを味わって本当にうれしいです。

最近、私は生涯で最高の幸せな信仰生活をしています。尊いいのちのみことばを解き明かされるまで、数えきれない断食と祈りで献身された堂会長先生に心より感謝し、終わりの時、尊いいのちの牧者を下さった父なる神様に感謝しています。

神様の恵みによって9年目にかわいい女の子を産みました

サティヤ聖徒(32歳、インド・マドライ万民教会)



私はヒンドゥー教の家庭で生まれて成長しました。2006年12月に結婚しましたが、赤ちゃんができませんでした。お医者さんに診てもらって多嚢胞性卵巣症候群とわかり、卵巣嚢腫切除の手術を受けましたが、結局妊娠できなくなったのです。

2014年10月、妹の伝道でマドライ万民教会(担任バシエル伝道師)に出席することになりました。GCN放送でソウルにある万民中央教会礼拝を一緒にささげ、創造主の神の力で病気のいやしやみごもり

の祝福、祈りに答えられたという証しを聞きました。私も赤ちゃんが持てるという信仰を持って、神様の前に祈り始めました。

そうしているうちに教会創立19周年記念礼拝とハンカチ集會が開かれ、インド・チェンナイ万民教会の担任ハン・ジョンヒ牧師先生から、イ・ジェロク牧師先生の祈りで神の力が込められたハンカチ(使徒19:11~12)で祈りを受けました。また、神の力が込められたムアの甘い水(出エジプト15:25)を毎日信仰によって飲んで、どん

な食べ物にもスプレーして食べました。ただ信仰によってまめに行った結果、2015年7月、妊娠したことを知りました。ハレルヤ!

お医者さんは私が妊娠したと聞いて奇跡だと言い、非常に驚きました。ついに結婚9年目にして2016年2月22日、元気な赤ちゃんを出産できました。赤ちゃんを持ってなかった私にかわいい女の子を授けてくださった創造主の神様に、すべての感謝と栄光をお帰します。

外反母趾と高血圧がいやされました

イ・ヒョヌ執事(55歳、2大大11教区)



私は2年前に210mmHg(正常値120/80mmHg以下)だった高血圧がハンカチの祈り(使徒19:11~12)でいやされました。最近も驚くべき神の力を体験して信仰が新しくされ、本当に幸せです。

去年の7月頃から右足の親指が人差し指のほうに曲がってくつくと、後には親指が持ち上がりました。外反母趾になったのです。寒くなると痛みがひどくなったし、革靴が履けなくて、楽な靴を履かなけれ

ばなりません。その時から微妙に足を引きずり始めました。

私は神様にいやされようと、信仰生活全般を顧みて、疎かにしていた分野を悔い改めました。信仰の基本を確実にしようと、霊とまことによって礼拝をささげ、各種の礼拝と集まりに参加して、祈るように努力しました。

今年2月21日、主日大礼拝の時、堂会長イ・ジェロク牧師先生のいやしの祈りを

心尽くして受けました。その後、いつものように宣教会の集まりなど、教会のあちこちを歩いていたのですが、ある瞬間、歩行に全く不自由を感じないでスタスタと歩いている自分の姿を発見したのです。神様がいやしてくださったのです。ハレルヤ!

このように生きておられ、祈りに答えくださり、病気をいやして霊の信仰を持てるように祝福して下さる神様に、すべての感謝と栄光をささげます。

主日大礼拝、主日夕方礼拝、金曜徹夜礼拝はソウルの万民中央教会の礼拝をNSS-6衛星で同時にささげています。

・イエス・キリスト飯田万民教会

〒395-0807 長野県飯田市鼎切石 3883-4
T) 0265-56-8286
<http://iidamanmin.to.cx/>

・名古屋万民教会

〒465-0014 名古屋市名東区上菅 1-916
T) 052-774-8874

・イエス・キリスト山形万民教会

〒999-3716 山形県東根市蟹沢 1486-4
T) 0237-43-0771

・イエス・キリスト別府万民教会

〒874-0924 大分県別府市餅ヶ浜町 4-41
T) 0977-23-8980

・イエス・キリスト大阪万民教会

〒591-8023 大阪府堺市中百舌鳥町 5-775-15
T) 072-220-5289
<http://www.osmanmin.com/>

・イエス・キリスト旭川万民教会

〒071-8144 北海道旭川市春光台4条3丁目 11-23
T) 0166-53-0652

・イエス・キリスト東京田端万民教会

〒114-1102 東京都北区田端新町3丁目36-1 栄ビル2F
T) 03-3809-3326
<http://tabata.manmin.or.kr/>

・イエス・キリスト松本万民教会

〒399-0033 長野県松本市笹賀 4343
T) 0263-57-0003

・イエス・キリスト舞鶴万民教会

〒624-0913 京都府舞鶴市上安久 138
T) 0773-75-5656
<http://www.manmin.jp/>

・岡山万民教会

〒716-1321 岡山県高梁市有漢町有漢3206
T) 0866-57-9691

・イエス・キリスト東京万民教会

(東京万民宣教センター)
〒167-0051 東京都杉並区荻窪 2-29-13
T) 03-6915-1740

・イエス・キリスト沖縄万民教会

〒901-2212 沖縄県宜野湾市長田1-28-10 サンライフ米須301号
T) 098-988-9472